

川一帯として！ 愛育会への抱負を語る！！



『こんにちは愛育会です』

小川久子支部長
(原道地区会長兼務)

各地区の会長から今後の抱負を語っていただきました。愛育会を知っていただきたいという意欲が満ち満ちております。会を愛している温もりのある言葉です。

行政と共に地域の絆を大切に、健康で信頼と笑顔のある、そして皆んな優しくして支部長として誇りと感謝の気持ちでいっぱいです。

原道の子育て支援が発足した頃、お祖父さんと参加したお子さんも小学3年生になりました。

日本は乳幼児から子供までの「メディア漬け」は世界一であるとの統計報道に驚きました。子ども、親、家族、地域そして愛育会は何をしていけば良いのか、真剣に考える時が来たように思います。私達も勉強し、少しずつでも子育て支援の中で取り組んでいきたいと思ひます。



『地域の絆を』

大塚はま子会長
(元和地区)

愛育会の活動は、健康づくりを通して、地域の皆様と絆を深め、住みよい地域づくりを目指しています。

そんなに大層なことができるわけではありませんが、まずは、いま行っている子育て支援、三世交代、声かけ訪問等の事業を充実させ、地域の皆様と良いお付き合いが築いていければと思っております。顔がわかり、声をかけ合える、話ができるを地域から広げて行きたいと考えています。赤ちゃんから高齢者まで、多くの方と良い関係を築ければと願っています。

「人は、一人では生きられない」、「孤独ほど苦しいものはない」と言ひます。お互いにほど良い関係を持ち続けたいものです。

今後とも、皆様の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。



『地域と共に健康で心も 身体も美しく 生きたい』

篠塚妙子名誉会長

国・県・市を挙げて今、少子高齢化への取り組みをしている時、

あの東日本大震災があり、また米国に端を発した不況の波と大きな国難に直面し、子ども虐待、高齢者の自殺と悲しいニュースの連続ですが、こんな時こそ私達の愛育会は行政と共に健康まつり、住民の健康診断のお手伝い、三世交代と明るい住みやすい町づくりを目指して頑張っています。

住民の協力とご理解をいただき、全戸加入の組織となりました。子どもから高齢者にとっても住んで良かったと思うまちづくりに愛育会活動を通して絆を深めていきたいと思っております。

名誉会長としてこれまでの経験を生かしていきますのでよろしくお願い致します♪♪



『信頼と 輝く 笑顔』

吉羽咲貢好会長
(豊野地区)

生涯、「元気に笑顔いっぱい暮らすこと」をビジョンに、もっと楽しくもっと喜んでもらえる活動になることを目標にしています。

「愛育会に関わりたい。役員が早く回ってこないかな!」「役員会が待ち遠しい!」と思っております。愛育会にしようと力を合わせて様々なことに取り組んでいます。

愛育会には、「財政力」も「行動力」も有りません。有るのは近所に住んでいる普通の「おばさん力」と過去50年以上積み重ねられた活動によって培われた「信頼」だけです。一人一人の人間同士のふれあい・思いやり・心配りが、『愛育会』＝「愛を育てる会」を支えているのでしょうか。まず自分を愛し、家族を愛し、地域の人を愛し、日本を愛しましょう。

輝く笑顔のために!



『どうして みんな こんなに やさしいの?』

中村千鶴子会長
(東地区)

12月14日三世交代の集いが賑やかに楽しく開催されました。その後片付けの終了間

際、お手伝いの分班長さんからこんな言葉が出ました。居合わせた皆さんの顔がほころびました。そういえば、この日まで行事も続き忙しい思いをしているはずなのに、反省会も前向きな意見ばかりだったことに気がきました。これが私の好きな東愛育会の役員、分班長の姿です。

今回、全国表彰を頂けたのも、各地区でやさしさの積み重ねを長年続けた賜物とうれしく思ひます。

これからも、年配の方、お母さん、子どもさん、赤ちゃんにやさしい地域づくりのサポートを皆様のお力をお借りして続けてゆきたいと存じます。よろしくお願ひ申し上げます。